

第1回 6月 阪大本番レベル模試 (2018年6月3日実施)

## 採点基準 世界史

※ 以下の加点ポイントは目安です(加点ポイントは< >でくり、得点を○の中に記入)。実際は個々の答案の状況に応じて採点しています。

学習の成果を少しでも拾いたいため、部分点はできるだけ与える方向で採点していますが、実際の入試では同じ扱いとは限りません。完全な答案を目指して、しっかり復習しよう！

### (I)大西洋革命 (配点 52点)

※指定語句が欠けているが他の加点ポイントで満点となる場合は、全体から1点減点とする。

#### 問1 5点

- ① コシユーンコ・・・1点
- ② ポーランドに帰国後第2回ポーランド分割に抵抗したこと・・・2点
- ③ 捕虜になり、亡命したこと(「敗北した」のみでも可)・・・2点

#### 問2 (30点満点)

- ① アメリカ独立宣言はロックの思想に影響されていること・・・3点
- ② フランス人権宣言はルソーの思想に影響を受けていること・・・3点
- ③ 両革命がラテンアメリカの独立運動に影響したこと・・・4点
- ④ トゥサン=ルヴェルチュールがサン=ドマング島で奴隷解放運動を指揮したこと・・・2点(1点ずつ)
- ⑤ 奴隷解放運動が独立の契機となったこと・・・2点
- ⑥ サン=ドマング島がハイチを指していること・・・1点
- ⑦ ハイチが初の黒人共和国であること・・・2点
- ⑧ フランス革命とその後の動乱でヨーロッパに自由主義とナショナリズムが拡散したこと・・・3点(フランス革命=1点, 自由主義・ナショナリズム=各1点)
- ⑨ クリオーリョがラテンアメリカの独立運動を起こしたこと・・・2点
- ⑩ シモン=ボリバルはベネズエラ, コロンビア, エクアドル, ボリビアを独立させたこと・・・4点(シモン=ボリバル=2点, 国名はどれか1カ国で2点, 全部あっても2点)。
- ⑪ サン=マルティンはアルゼンチン, チリ, ペルーを独立させたこと・・・3点(サン=マルティン=2点, 国名はどれか1カ国で2点, 全部あっても2点)

### (II) 明の海禁政策とアジア諸国の関係 (配点 30点)

- ① 明が漢民族の復興を目指したこと・・・2点

- ② 明が冊封体制をとり、朝貢を行わせようとしたこと。・・・3点（冊封体制＝2点。朝貢＝1点）
- ③ 元に代わる明（または明皇帝）の権威を高め（認めさせ）ようとしたこと。・・・3点
  - ④ 元末明初に（前期）倭寇の活動が活発となったこと。・・・3点（元末明初＝1点，倭寇＝2点）※後期倭寇は0点
  - ⑤ 海禁を行ったこと。・・・2点
  - ⑥ 永楽帝が国威発揚と朝貢体制の徹底を目指したこと。・・・4点（永楽帝＝2点，国威発揚と朝貢体制の徹底＝1点×2＝2点）
  - ⑦ ⑥のために鄭和の南海諸国遠征が実施されたこと。・・・3点（鄭和＝1点，南海諸国遠征＝1点）
  - ⑧ 鄭和がマラッカを拠点としたこと・・・2点
  - ⑨ マラッカ王国が東南アジアの貿易拠点となったこと。・・・2点
  - ⑩ 琉球と朝鮮が明の権威を認めて朝貢したこと。・・・4点（琉球＝1点，朝鮮＝1点 両国が明朝の権威を認め朝貢した＝2点）
  - ⑪ 明が琉球と朝鮮を他国の模範とさせようとしたこと・・・1点
  - ⑫ 明が琉球と朝鮮に優遇措置をとったこと。・・・2点（特別扱いしたということを書いてあれば可）

※300字程度を書いている答案を採点対象とする。

### （Ⅲ）クリミア戦争と国際関係に与えた影響（配点 35点）

問3 （25点満点）

- ① ロシアが「ヨーロッパの憲兵」としてウィーン体制（反革命）を擁護していたこと。・・・3点（ヨーロッパの憲兵＝1点，ウィーン体制（反革命）の擁護＝2点）
- ② クリミア戦争の敗北でロシアの優位性が失われたこと。・・・3点（ロシアのクリミア戦争敗北＝1点，ロシアの優位性が失われたこと＝2点）
- ③ クリミア戦争でウィーン体制が完全に崩壊したこと。・・・3点
- ④ ロシアが敗北をきっかけに農奴解放令発布に見られるような国内改革を始めたこと。・・・3点
- ⑤ イギリスがインド大反乱の対応に追われたこと（アロー事件の対応に追われたでも可）。・・・3点
- ⑥ 各国が自国内の諸問題に専念するようになったこと。・・・3点
- ⑦ そのために列強が共同してヨーロッパ域内の問題に対応することが困難になったこと。（列強が自国利益優先するようになったという内容でも可）・・・3点
- ⑧ プロイセンやサルデーニャによる統一運動が活発化したこと。・・・4点（プロイセンのドイツ統一運動＝2点，サルデーニャによるイタリア統一運動＝2点）